

わかくさ

社会福祉法人 崇光会
児童養護施設 若草園

〒787-0155 高知県中村市下田寺屋2203
TEL(0880)33-0247
FAX(0880)33-0518
グループホームTEL(0880)33-1360



よく褒めて たまに叱り しっかり教える
中村市立下田小学校 山崎 祥正

「這えは、立て、立てば歩めの親心」と言われますように、子どもより良い成長を願う親心は、皆同じです。我が子がすくすくと健やかに育つ事を心より願っています。一人一人の成長の歩みは十人十色ですが、どの子も伸びて行く可能性を秘め未来に羽ばたく存在です。その子なりの成長を図り能力を伸ばし、どの子も安心して楽しく生活するためにより良い子育てが必要です。子育ての極意は、ことわざの中に秘められています。

「三つ叱って五つ褒め七つ教えて子は育つ」とのことわざは、子どもを叱るのは少しにして、多く褒めて、たくさん教えてやるのが良いという事です。子どもより良い成長のためには、どれも必要な事で個々の子どもの個性に応じた微妙なバランスが大切です。

課題を持つている子どもの多くは、怒られるばかりで「褒められた事がない、叱られた事がない、教えられない」と言う事態です。子どもを褒める事、叱る事、教える事は、大人の責務です。特に親や教師にとっては、当たり前のことですが、その当然の事が当然の如く出来ない困難な時代状況、社会状況に在ります。教育問題が取り沙汰されるゆえんです。中でも、さじ加減の一一番難しいのが叱る事です。いつの頃からでしょうか、「悪い事は悪い、いけない事はいけない」と本気で叱ってくれる大人が地域社会から少なくなりました。今、叱る教育の復権が叫ばれつつありますが、大変難しい社会状況にあります。上手く叱ることが「子育てのポイント」になります。叱ることと、怒ることを区別しなければなりません。無関心であつたり、感情に任せて怒るのではなく、子どもの心に響く叱り上手になりたいものです。また、「地域で子どもを守り育てる」と言う事を皆が共通理解する必要があります。大人の言葉が届く事です。地域の大人の子どもを見守る目線や子どもに寄せる熱い思いが子どもを育てます。

「本気、根気、元気」、何事も本気で、根気強く、元気一杯で子育てに専念出来れば本当に幸せだと思います。

山崎先生は子ども達が通う下田小学校の校長先生です。
園の子ども達が日頃から大変お世話になっています。

子ども達の活動



ボーイスカウト活動から

(日本ジャンボリー)

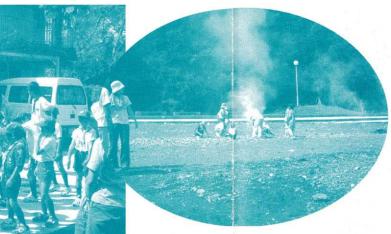
今年は、4年に一回の日本ジャンボリーが8／4～8／8大阪府舞洲スポーツアイランドで行われました。日本国内はもちろん、海外のスカウト達も沢山集りました。



10／19～10／20下田公園・とまろっとに県下のスカウト達やリーダーが集まって、ビーバー・カブラリーが行われました。



(カントリー大合戦)
9／21平野の浜の清掃を行いました。



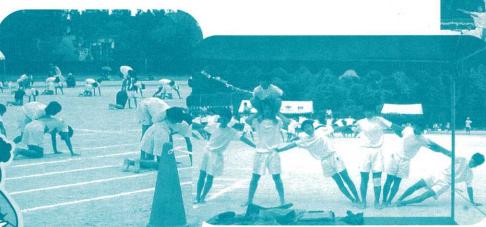
園や学校や県下の児童養護施設の活動から



夏はキャンプの季節です。
7／21～7／23宿毛市 笹平キャンプ場で楽しいキャンプが行われました。



8／24
地域の人達を招待して園庭にて夜店。



9／15
中学校運動会。園の子ども達も頑張りました。



10／21
高知県児童養護施設秋季体育大会が
佐川町体育馆・グラウンドで
ドッヂボールとソフトボールが行われました。



先生より一言コーナー

岡崎 光子先生

平成14年4月1日より若草園で臨時保育士として働いています。施設での仕事は初めての事で、何をするにもわからない事ばかりで、職員の方はじめ子ども達には迷惑ばかりかけていますが、みなさんに教わりながら早、半年が経ちました。

他の職場では経験できない事がたくさんある中で若草園でしか経験できない事を子ども達と一緒にこれからもたくさんできればいいなと、思っています。まだまだ不十分な事ばかりで迷惑をかけると思いますが、これからもよろしくお願い致します。

これからも一人ひとりの健やかな成長を願うとともに皆が仲良く素直で思いやりのある子に育つてほしいと願っています。

岩井 愛先生

今年の6月から若草園で仕事をさせていただいている岩井愛です。担当グループは女子グループで福留保母、岡崎保母と一緒に担当しています。仕事をさせていただく前に、一週間の実習があつたのですが、施設で働いたこともなく、学生時代も実習したことがなかったので、まったく分からぬまま始まった実習でした。仕事の内容は、洗濯物を干したり、子どもの服を直したり、家庭での母親のかわりを主としていて、子どもの様子や生活面にもきちんと目を向けていなければいけないのだと改めて感じました。仕事をしながら、だいぶ経ちましたが、まだまだです。周りの先生方の指導を見ながら日々勉強させていただけています。

自己紹介

今年の2月から、みんなと一緒に過ごさせてもらっている森です。4月から三宮先生と中・高生グループを担当させてもらっています。初めは、わからない事ばかりで、オロオロしたり、『中・高生の男の子』という事で身構えてしまったりもしましたが、マンガの話などで、話すきっかけができました。男兄弟の中で育ち、少年マンガを普通に読めた事に感謝した事でした。おかげで、いろんな話もできるようになりましたが、最近では「男やろう?」とか「男女~!」と言われるようになります。今までそんな事を言われた事がなかったので、かなりショックを受けています。でも、負けずに楽しんで返すように頑張っています。

これからの楽しい事が増えるように頑張りますので、よろしくお願い致します。

平成14年度収支決算報告書

本部会計

科 目	金 額	科 目	金 額
寄付金収入	1,260,000	支 出	事務費支出 1,785,529
施設会計繰入金収入	35,000		建設積立金繰入 1,000,000
雑収入	1,691,095		
			小 計 2,785,529
			繰越金 200,566
合 計	2,986,095		合 計 2,986,095

平成14年度収支決算報告書

施設会計

科 目	金 額	科 目	金 額
事務費収入	91,250,380	支 出	事務費支出 90,015,764
事業費収入	25,955,798		事業費支出 30,225,986
都道府県補助金収入	1,704,289		本部会計繰入金支出 35,000
市町村補助金収入	463,500		修繕引当金繰入 2,000,000
寄付金収入	556,890		小 計 122,276,750
雑収入	2,433,231		繰越金 87,338
合 計	122,364,088		合 計 122,364,088

トイレの改修工事が終わりました

若草園のトイレが水洗式に変わりました。

中央競馬馬主社会福祉財団から補助金をいただき、平成14年5月から工事を行つきましたが、7月に工事が無事に終わり、トイレが快適になりました。

子どもたちも大喜びで、大切に使っています。

大型の合併式浄化槽を設置しましたので、家庭雑排水も今までよりもきれいな状態で排水できます。

中央競馬馬主財団様をはじめ、多くの方に協力いただきましたことを厚くお礼申し上げます。

新しくワンボックス車が仲間入りしました。

高知県社会福祉協議会を通して赤い羽共同募金様より、10人乗りワンボックス車を寄贈していただきました。

幼稚園児の送迎や子どもたちのお出かけに早速大活躍しています。

